

PAPERCUT™

クイックスタート・ガイド (Windows 用)

Rev. 2.0
2015/12/01

目次

1.	お使いになる前に.....	2
	1-1 注意事項.....	2
2.	PaperCut の概要.....	3
3.	システム要件とネットワークの設定.....	3
4.	プリント・キューの設定.....	6
	PaperCut TCP/IP ポートの使用.....	6
	Windows プリント・キューのセキュリティ権限を制限する方法.....	10
	Windows Server 2008 R2 を使用する場合.....	11
5.	インストール手順.....	13
6.	初期設定ウィザード.....	19
7.	管理者画面の設定.....	24
	7-1 画面構成.....	24
	7-2 オプション設定.....	25
	表示形式の設定.....	25
	ユーザ/グループの同期設定.....	26
	オンデマンド・ユーザの設定.....	27
	内部ユーザの有効化の設定.....	27
	7-3 グループの設定.....	28
	グループの追加と削除.....	29
	クォータ・スケジューリング.....	30
	新規ユーザの作成の設定.....	31
	7-4 ユーザの設定.....	32
	個別ユーザの設定方法.....	32
	一括ユーザの設定方法.....	33
	7-5 プリンタの設定.....	34
	コスト設定.....	35
	カラー検出モードの設定.....	36
	フィルタの設定.....	37
	プリンタ設定のコピー.....	38
8.	クライアント・ソフトウェアの共有.....	40
9.	クライアント・ソフトウェアの展開 (任意).....	40
10.	インストール後のテスト.....	41
	10-1 クライアント・ツールを使用しない環境でのテスト.....	41
	10-2 クライアント・ツールを使用する環境でのテスト.....	42
11.	次にすること.....	44
	【参考】ワークグループ環境の設定方法.....	45

1. お使いになる前に

1-1 注意事項

本資料の著作権は株式会社 COSY に帰属します。

本資料を無断で複製、転記することを禁止します。

本資料は万全を期して作成されていますが、万一不明な点や誤り記載漏れなどがございましたら弊社までご連絡ください。

本資料及び本ソフトウェアは使用者の責任でご使用ください。ご使用の結果、万一トラブルおよび訴訟等が発生しましても、あらゆる直接、または間接の損害および損失につきまして、弊社は一切責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

本ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、改善のため予告なしに変更されることがあります。

本ソフトウェアの使用には、ソフトウェアライセンス契約が必要です。株式会社 COSY またはそのライセンサーの重要な業務機密と独自の情報が含まれており、日本国政府の著作権法で保護されています。株式会社 COSY またはそのライセンサーのソフトウェアと本資料の無断使用は、損害賠償、刑事訴訟の対象となります。

本資料に記載されている会社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標です。

2. PaperCut の概要

PaperCut は、ネットワーク・プリンタやローカル・プリンタへ出力した印刷データのトラッキング、監査、管理、制御、認証や課金を行うことができるパワフルなツールです。どのプリンタから、いつ、誰が、どの PC から、何を、何枚、印刷したのか、すべての記録を残せます。

このガイドでは PaperCut を簡単にインストール/設定する方法をご紹介します。

【注記】このガイドで使用するスクリーン・ショットは「PaperCut MF」を使用しています。機能は「PaperCut NG」「PaperCut Plus」と相違はございません。

3. システム要件とネットワークの設定

● 注記

このガイドは、Windows Server 2012 R2 64bit を使用していることを前提にしています。プロセスは他の Windows オペレーティング・システム (Windows Server 2012, 2008, 8.1, 8, 7, Vista) でも同じです。

評価や本番用と PaperCut をインストールする前に、システム管理者は必ずシステム要件を確認してください。

- インストールする PaperCut ソフトウェアを事前に準備してください。試用版は弊社ダウンロードサイトから入手できます。
(PaperCut Plus の試用版ダウンロードサイト: <https://sec13.alpha-1t.net/printmanagement.jp/pccdownload.htm>)
- PaperCut をインストールするオペレーティング・システムがサポート済み OS かどうか確認してください。また、最新のパッチが適用されているかをご確認ください。
- ワークグループ環境の場合(ドメインに参加していない場合)、追加構成が必要になります。詳細は「【参考】ワークグループ環境の設定方法」を参照してください。
- プリンタ・ドライバがインストール済みで PaperCut をインストールするサーバにホストされていること。PaperCut はプリンタが直接ホストするシステム上にインストールする必要があります。
- プリンタは「TCP/IP ポート」「PaperCut Port」「LPR」「JetDirect」などのいずれかの接続方法、もしくは USB または LPT ポート経由でシステムに直接接続された「ローカル・プリンタ」としてインストールする必要があります。

- マルチ・ユーザ環境では、プリンタは他のネットワーク・ユーザと共有されます。他のワークステーションは、「ネットワーク・プリンタ」としてこれらのプリンタに接続する必要があります。ワークステーションが共有されたプリント・キューへ印刷されるように設定されているかを確認してください。

例: Windows ワークステーションは次のようなパスで接続できます ¥¥[samba_server]¥¥[printer]

- PaperCut をインストールする前に、プリンタが正しく設定され正常に動作することを確認してください。

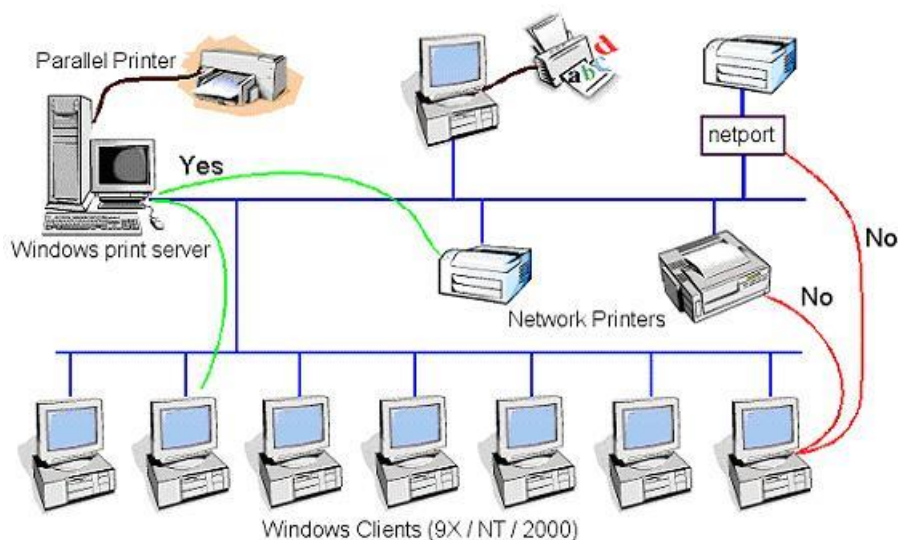


Image01: ネットワーク・プリンタの構成

PaperCut のシステム要件:

ソフト名	PaperCut	
OS	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows 2012R2 / 2012 / 2008 / 2008 R2 / Windows 10 / 8.1* / 8* / 7* / Vista* (server, advanced server, enterprise edition, 64-bit edition, workstation*, professional* をサポート) 注記: Windows 7 と Vista の HomeEdition はサポートしていません。 ● Microsoft クラスタリング・サービス(アプリケーション層) ● Apple Mac OS X 10.8 以降 (El Capitan 対応) ● Novell Open Enterprise Server 2 LINUX (OES 2 SP1 , SP2 (HOTFIX 適用要) , SP3 , Novell OES 11 ● 最新の Linux ディストリビューション各種(Red Hat, Novell SUSE, Debian, 等) Red Hat 6.0 以降, Novell SUSE 11.0 以降, Debian 6.0 以降, Ubuntu 10.04 以降, その他 (GNU glibc 2.11 以降が必須) 	
メモリ	<p style="text-align: center;">4GB 以上(推奨) (最低 768MB)</p> <p style="text-align: center;">(最新のプリント・サーバのほとんどは、2GB から 4GB のメモリを基盤としています)</p>	
HD 容量	<p style="text-align: center;">300MB 以上 (PaperCut 本体のみ)</p> <p style="text-align: center;">(ログと印刷履歴用のストレージを追加することを推奨) (プリント・アーカイブ機能を使用する場合、100GB 以上の空き容量を推奨) (最新のプリント・サーバのほとんどは、60GB から 500GB を基盤としています)</p>	
CPU	<p style="text-align: center;">1.2GHz 以上(推奨)</p>	
プリンタ	プリンタ言語	Postscript PCL, PCL-GUI, PCLXL HPGL ESC/P2, ESC/PAGE, ESC/PAGE-COLOR RPCS CANON BubbleJet, CAPT, GARO, UFR, UFRII QPDL XEROX TIFF6 GDI(HBPL, Konica-Minolta, RISO GDI, QMS, Samsung, Lexmark Dell, Brother, Zebra 等)
	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク・プリンタを推奨 ● Windows システムでない場合、CUPS か Samba プリント・システムが必要 	

4. プリント・キューの設定

リリース・ステーションやアカウント選択ポップアップを使用する場合、プリント・キューを保護することを推奨します。そうすることにより、ユーザがキューの中のドキュメントを一時停止/再開する権限を持たないようにすることができます。PaperCut がユーザから妨害されることなく完全にコントロールすることができます。

Windows プリント・キューをセキュアにする方法は次の2通りです：

1. PaperCut TCP/IP Port を使用してキューを設定する方法
2. プリント・キューのセキュリティ権限を制限する方法。この方法によりユーザが管理機能を実行できなくなります。

PaperCut TCP/IP ポートの使用

キューのポートに「PaperCut TCP/IP Port」を設定すると、手動でジョブを再開して印刷することができないようになります。プリンタの「ハードウェア・チェック機能」を有効化している場合は、すでに「PaperCut TCP/IP Port」を使用されているはずです。「PaperCut TCP/IP Port」の設定方法は、次の通りです：

既存のプリンタ・キューに「PaperCut TCP/IP Port」を設定する方法

1. 「デバイスとプリンター」を選択してください。
2. ハードウェア・チェックを実行するプリンタ・ドライバを選択し、ショートカット・メニューから「プリンタのプロパティ」を選択してください。

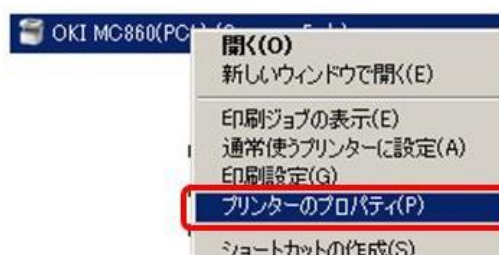


Image02: プリンタのプロパティ

3. プリンタのプロパティ画面から「ポート」タブを選択し、「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。

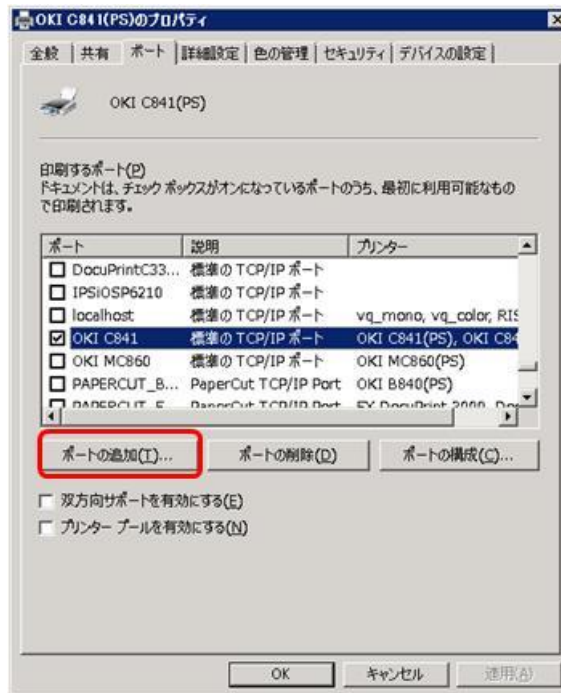


Image03: ポートの追加

- 「利用可能なポートの種類」の画面から「PaperCut TCP/IP Port」を選択し、[新しいポート...] ボタンをクリックしてください



Image04: 利用可能なポートの種類の選択

【備考】「PaperCut TCP/IP Port」がポートの種類一覧に表示されていない場合、トラブルシューティング「Windows のプリンタ設定でポート設定時、「PaperCut TCP/IP」ポートが選択できない場合」を参照してください。

- 「Add TCP/IP Port」画面が開きます。「プリンタ名もしくは IP アドレス」と「ポート名」を入力し、[Add Port] ボタンをクリックしてください。

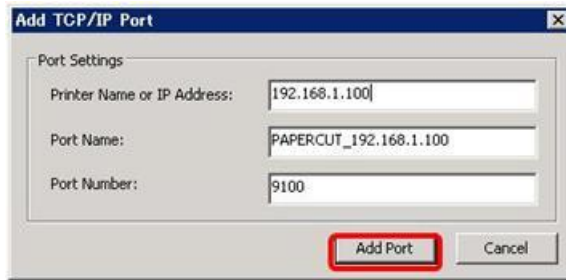


Image05: Add TCP/IP Port

6. PaperCut TCP/IP Port が追加されます。[OK] もしくは [適用] ボタンをクリックしてください。これで設定は完了です。プロパティのウィンドウを閉じてください。

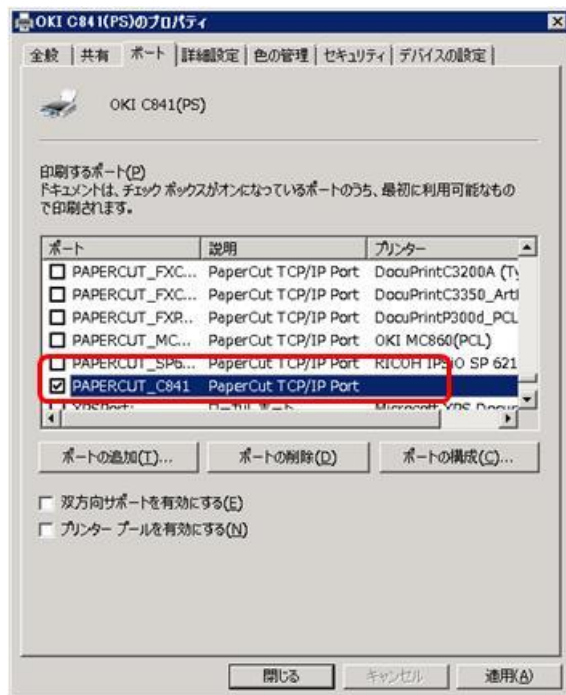


Image06: PaperCut TCP/IP ポートの追加

新規に作成するプリンタ・キューに「PaperCut TCP/IP Port」を設定する方法

1. 「デバイスとプリンター」を選択してください。
2. [プリンタの追加] ボタンをクリックしてください。「プリンタの追加」画面が開きます。
3. 「インストールするプリンタの種類を選択」から「ローカルプリンターを追加します」を選択してください。

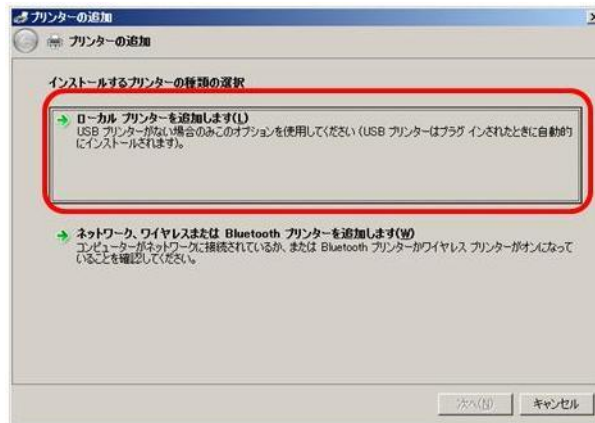


Image07: プリンタの追加

- 「プリンター ポートの選択」から「新しいポートの作成」を選択し、ポートの種類から「PaperCut TCP/IP Port」を選択してください

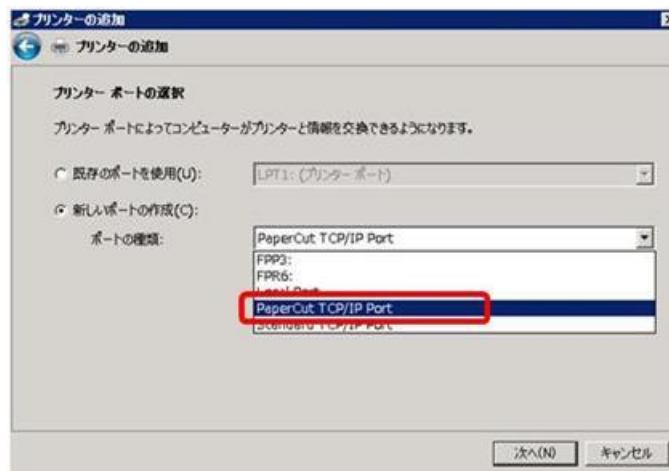


Image08: プリンタ ポートの選択

- 「Add TCP/IP Port」画面が開きます。プリンタ名もしくはプリンタの IP アドレス、ポート名を入力し、[Add Port] ボタンをクリックしてください。

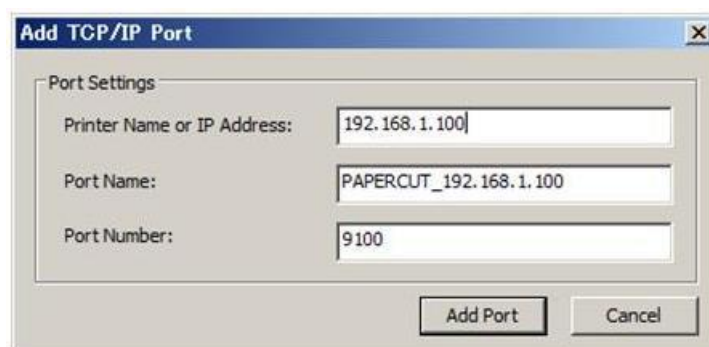


Image09: プリンタ・ポートの選択

6. ポートの追加が完了したら、ウィザードに従い通常通り新規プリンタ・ドライバの追加を完了してください。

Windows プリント・キューのセキュリティ権限を制限する方法

この方法は Windows のほとんどのバージョンで動作します。しかし、Windows 8.1 と Windows Server 2012 SP2 環境の場合、印刷を妨げる可能性があります。これらのバージョンの場合は、PaperCut TCP/IP Port を使用してセキュア印刷を行う必要があります。キューのセキュリティ権限を制限する方法は次の通りです：

1. プリンタがホストするサーバへ管理者としてログイン
2. プリンタの設定を行います。〈コントロール パネル〉 - 〈デバイスとプリンター〉 を選択。
3. プリンタ・ドライバ上で右クリックし、ショートカット・メニューから「プリンターのプロパティ」を選択
4. プロパティ画面の〈セキュリティ〉タブを選択
5. ユーザ「CREATOR OWNER」を選択し、アクセス許可の「ドキュメントの管理」の許可のチェックを外してください。



Image10: Windows プリント・キューのアクセス許可の設定

6. [OK] ボタンをクリックし、設定を保存してください。
7. 必要な場合、他のプリント・キュー(ドライバ)も 3~6 の作業を繰り返し行ってください。

Windows Server 2008 R2 を使用する場合

Windows Server 2008 R2 を使用する場合、印刷完了後にプリント・キューからプリント・ジョブが削除されない問題が発生する可能性があります。これらのジョブは「プリンタへ送信済み」の状態のままキューに残ります。この問題を回避するには、印刷完了時にキューからジョブを削除するように「ドライバの分離」（Printer Driver Isolation 機能）を設定する必要があります。

1. プリンタがホストするサーバへ管理者としてログイン
2. 「サーバー マネージャー」を起動し、〈役割〉 - 〈印刷とドキュメント サービス〉 - 〈印刷管理〉 - 〈プリント サーバー〉 - 〈プリント サーバー名〉 を選択 - 〈ドライバー〉 を選択
3. プリンタ・ドライバを右クリックし、ショートカット・メニューから「ドライバーの分離の設定」を選択し、「なし」を設定
4. モニタリングするプリンタ・ドライバすべてに上記設定を繰り返し行う

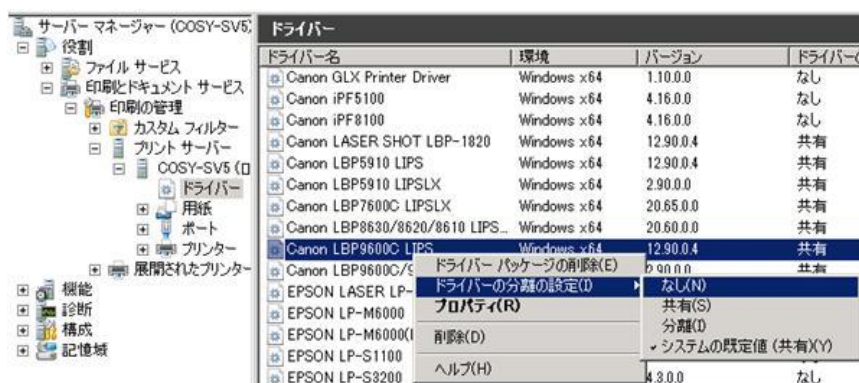


Image11: ドライバの分離の設定

■ 参考

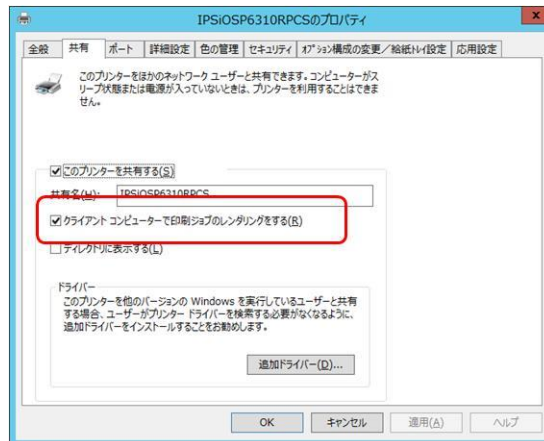
ドライバの分離の設定の詳細は下記 Microsoft 社のサイトを参考にしてください。

【Japan WDK Support Blog: Printer Driver Isolation】

<http://blogs.msdn.com/b/jpwwdkblog/archive/2010/09/10/printer-driver-isolation.aspx>

■ 参考

「CREATOR OWNER」権限と「ドライバ分離」の両方の設定を変更した場合、「アクセス拒否」エラーが発生することがあります。その場合、「プリンターのプロティ」の<共有>タブから「クライアント コンピューターで印刷ジョブのレンダリングをする」のチェックを外してください。



5. インストール手順

PaperCut のインストール・プログラムは Windows 標準の setup.exe ファイルで提供しています。

PaperCut のインストールは管理者権限を持つユーザで実行してください。システムの再起動は必要ありませんが、稼働中のシステム上にインストールする場合は低活動時間中に行われることを推奨します。

1. PaperCut インストーラ「pcmf-setup-xx.x.xxxx.exe」(PaperCut Plus の場合「pcng-setup-xx.x.xxxx.exe」) をダブルクリックしてください。セットアップウィザードが起動します。手順に従ってインストールを行ってください。
2. 【PaperCut セットアップ(1)】PaperCut セットアップウィザードの開始: [次へ] をクリックしてください。

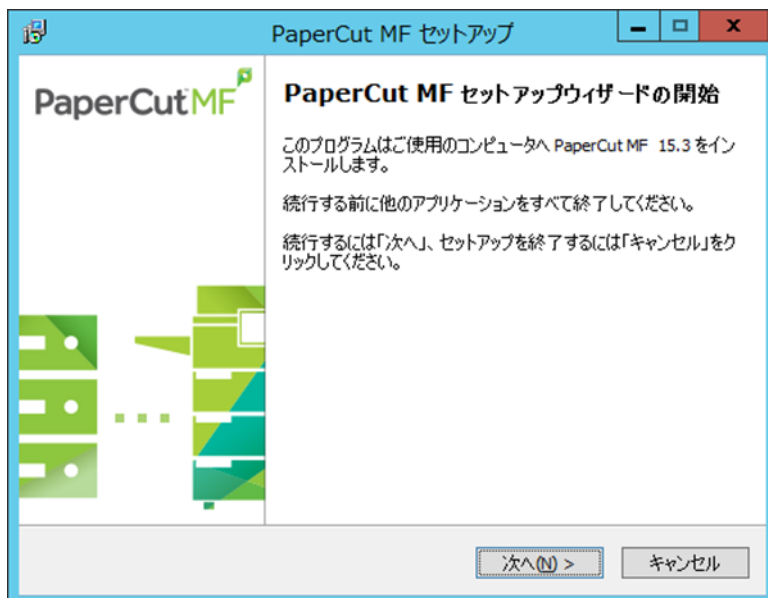


Image12: PaperCut セットアップウィザードの開始

3. 【PaperCut セットアップ(2)】使用許諾契約書の同意: 「同意する」を選択し、[次へ] をクリックしてください。



Image13: 使用許諾契約書の同意

4. 【PaperCut セットアップ(3)】情報:

PaperCut のインストールに関する情報画面が表示されます。情報を確認後、[次へ] をクリックしてください。

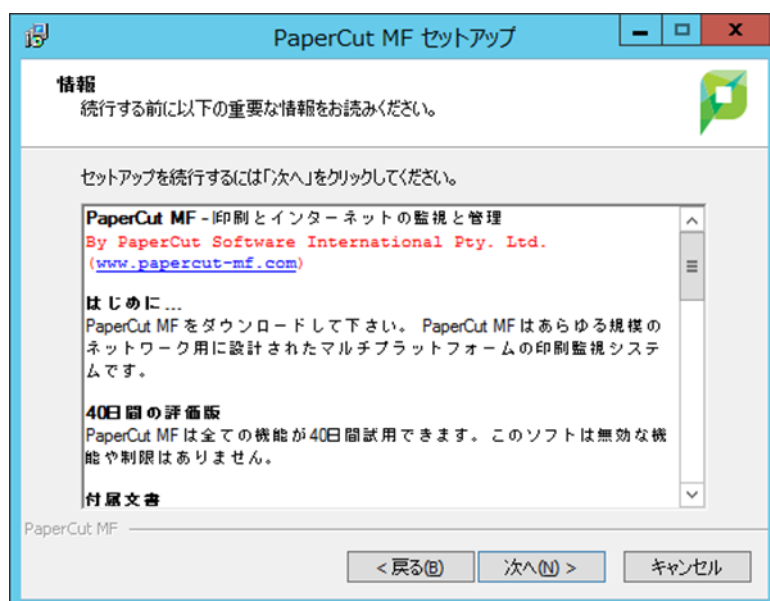


Image14: 重要な情報

5. PaperCut セットアップ(4)】インストール先の指定:

インストール先フォルダを指定します。デフォルトのインストール先フォルダは

<C:\Programme Files\PaperCut \>です。インストール先を変更される場合、[参照]ボタンをクリックし、インストール先フォルダを指定してください。フォルダの指定が完了したら、[次へ]をクリックしてください。

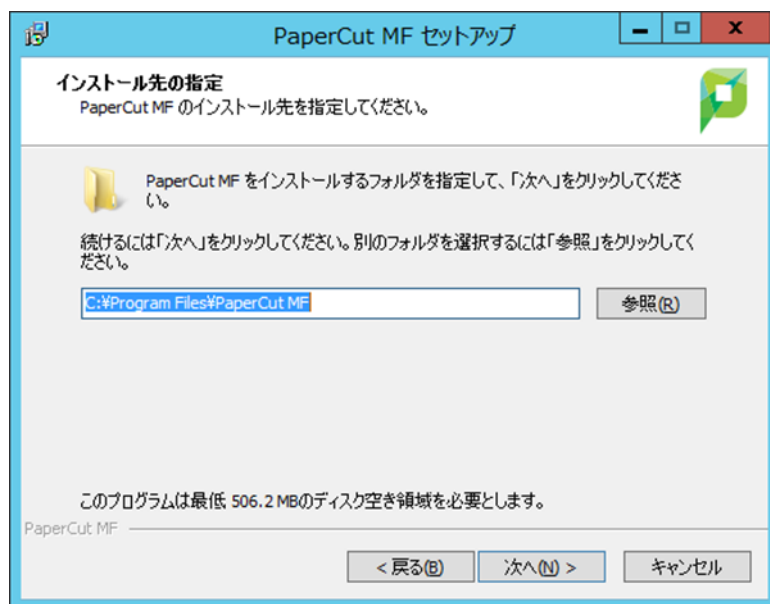


Image15: インストール先の指定

6. 【PaperCut セットアップ(5)】コンポーネントの選択:

インストールコンポーネントを選択します。「Standard installation (primary server)」を選択し、[次へ]をクリックしてください。

※「Standard installation」以外のインストールにつきましては弊社までお問い合わせください。

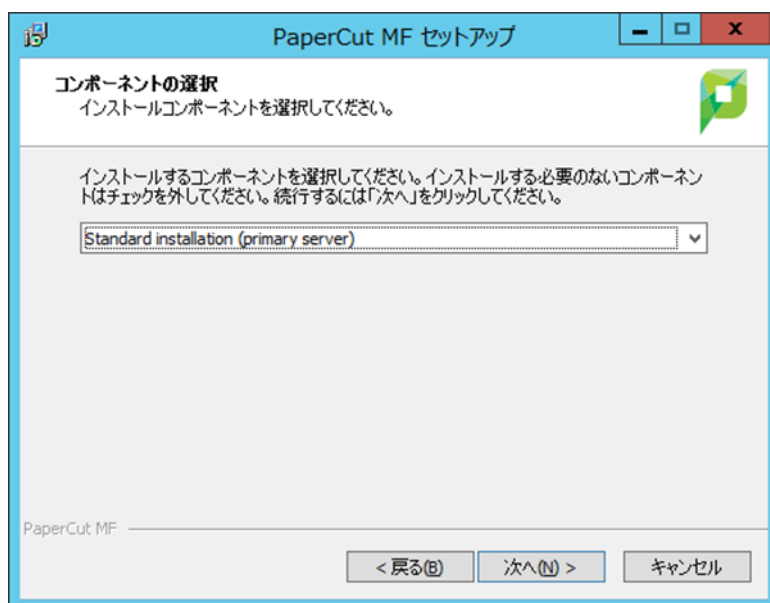


Image16: コンポーネントの選択

7. 【PaperCut セットアップ(6)】追加タスクの選択:

デスクトップに PaperCut のアイコンを作成する場合、チェックを付けてください。[次へ]をクリックしてください。

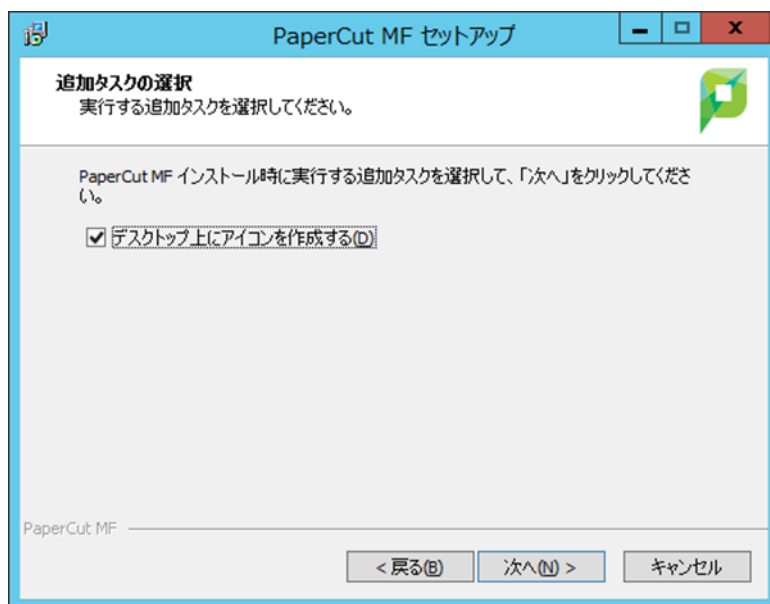


Image17: 追加タスクの選択

8. 【PaperCut セットアップ(7)】インストール準備完了:
最終確認画面が表示されます。[インストール] をクリックしてください。



Image18: インストール準備完了

9. 【PaperCut セットアップ(8)】インストール状況:
PaperCut のインストールが開始されます。インストールが完了するまでお待ちください。

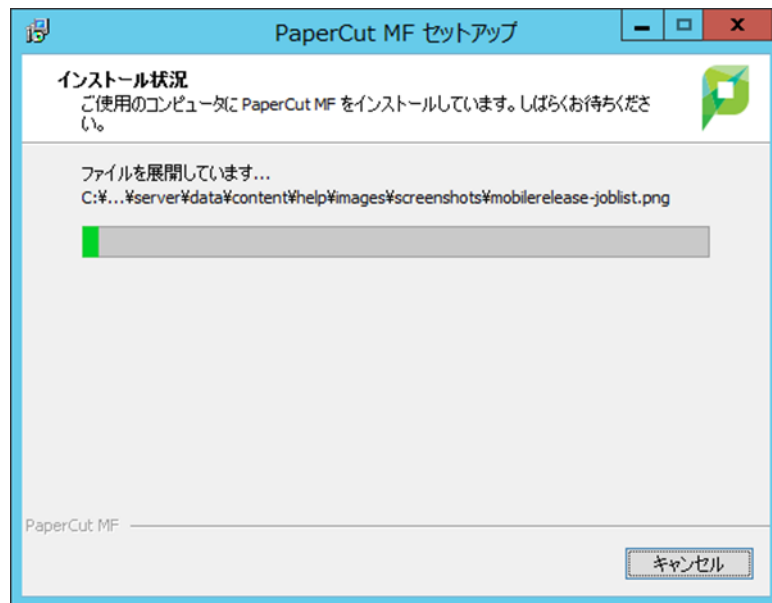


Image19: インストール状況

10. 【PaperCut セットアップ(9)】PaperCut セットアップウィザードの完了:
インストールが完了するとセットアップ完了画面が表示されます。引き続き初期設定を行いますので、「Open application and complete configuration」にチェックをし[完了]をクリックしてください。

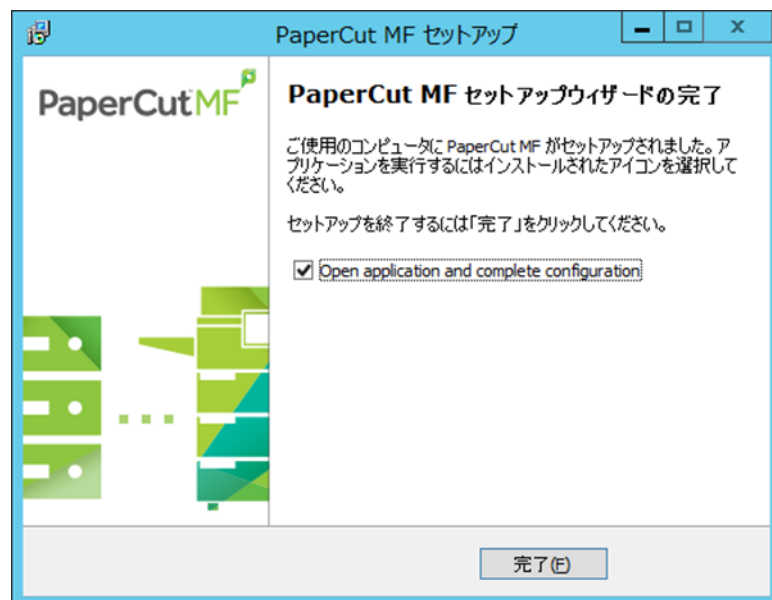


Image20: セットアップウィザードの完了

11. 以上で PaperCut のインストールは完了です。自動的にブラウザが開き設定ウィザードが表示されます。引き続き設定を行ってください。

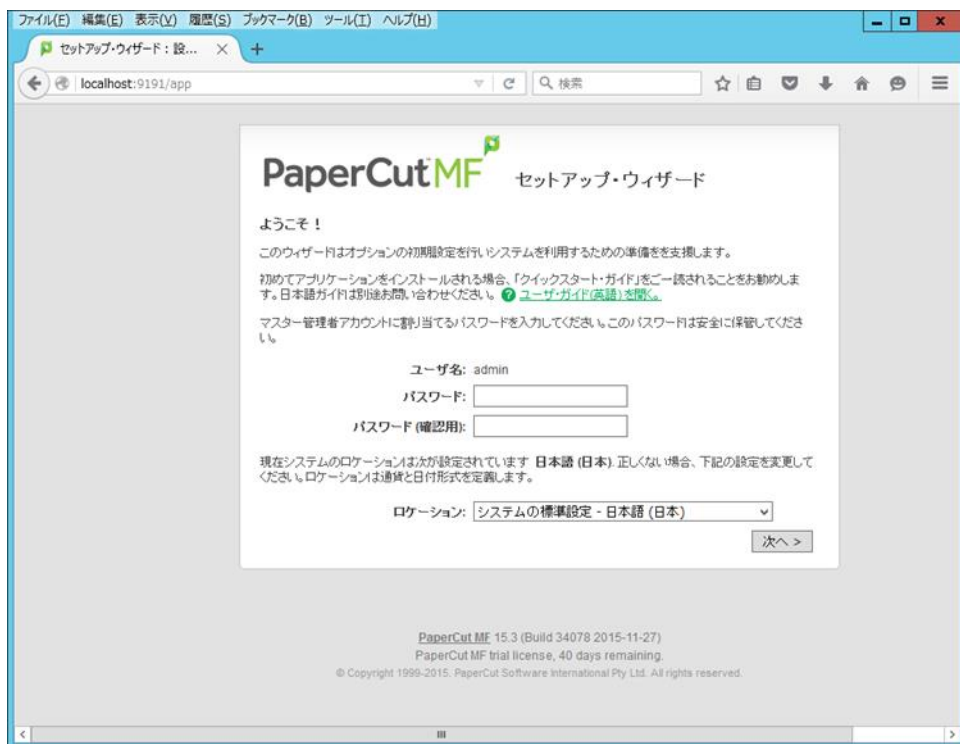


Image21: 設定ウィザード

6. 初期設定ウィザード

PaperCut インストール後、ブラウザが自動起動し PaperCut のセットアップ・ウィザードが表示します。ウィザードに従って初期設定を行ってください。

ビルトイン管理者パスワードの設定

ビルトイン管理者パスワードを設定します。ビルトイン管理者のユーザ名は「admin」です。(変更不可) パスワードは半角英数字 6 文字以上を指定してください。ビルトイン管理者アカウント (admin) とパスワードは、オペレーティング・システム/ドメインとは関連がありません。パスワードは安全に保管してください。また、この画面ではシステムのロケーションも指定してください。設定が完了したら、[次へ] をクリックしてください。



The screenshot shows the 'PaperCut MF セットアップ・ウィザード' (Setup Wizard) window. It includes a 'ようこそ!' (Welcome!) message and instructions. The 'ユーザ名' (Username) is set to 'admin'. There are two password input fields: 'パスワード' (Password) and 'パスワード (確認用)' (Password (Confirmation)), both containing six dots. Below the password fields, there is a dropdown menu for 'ロケーション' (Location) set to 'システムの標準設定 - 日本語 (日本)' (System default - Japanese (Japan)). A '次へ >' (Next >) button is located at the bottom right.

Image22: 管理者パスワードの設定

組織タイプの設定

PaperCut を導入する環境に合った組織タイプを選択します。設定後、[次へ] をクリックしてください。

Image23: 組織タイプの設定

印刷のデフォルト・コストの設定

PaperCut で管理するプリンタに割り当てる 1 ページあたりのコストを定義します。

(PaperCut では印刷する「面」が「ページ」となります)

デフォルトのコストは「0」です。なお、プリンタに割り当てるコスト値は初期設定完了後、プリンタ毎に変更可能です。1 ページあたりのデフォルト・コストの設定後、[次へ] をクリックしてください。

Image24: 印刷のデフォルト・コストの設定

ユーザの初期残高の設定

ユーザに割り当てる初期残高(ポイント)を設定します。デフォルトの残高は「¥0」です。ユーザに割り当てる残高は初期設定完了後に変更可能です。ユーザの初期残高を設定後、[次へ] をクリックしてください。

Image25:ユーザの初期残高の設定

ユーザ/グループの同期

ユーザ/グループ情報をユーザ・ソースからインポートします。このガイドでは「Active Directory」を選択し設定を行っています。またインポートするユーザは「すべてのユーザをインポート」を選択しています。設定後、[次へ] をクリックしてください。

Image26: ユーザ/グループの同期

● 参考: ユーザ・ソース

PaperCut はユーザ・ソースに「Windows Active Directory」「LDAP」が選択できます。「Active Directory」および「LDAP」の連携の詳細は別紙「管理者詳細設定ガイド(システム管理)」の「4.ユーザ/グループの同期」を参照してください。

● 参考: Windows 標準

「Windows 標準」を選択した場合、PaperCut をインストールした PC 上に設定されているすべてのローカル・ユーザ情報が PaperCut にインポートされます。

設定オプションの確認

初期設定の確認画面が表示されます。設定に間違いがなければ[完了]をクリックしてください。設定を修正する場合、[前へ]をクリックしてください。



Image27: セットアップ・オプションの確認

初期ユーザのインポート

ユーザ情報がインポートされます。操作完了が表示されたら、[閉じる]をクリックしてください。



Image28: 初期ユーザのインポート

セットアップ完了

ユーザのインポートが完了したらセットアップは完了です。「弊社のソフトウェア改善のため、システム利用データの共有にご協力ください。」のチェックを外し、[ログイン]をクリックしてください。



Image29: セットアップ終了

■ 参考：システム利用データの共有

PaperCut ソフトウェアの改善と機能向上のために、PaperCut 社は Ver.15.3 から利用データを収集する機能を追加しました。PaperCut 社は多くのお客様が利用する機能強化の優先順位を決定するために収集したデータを使用します。

ご協力いただける場合のみ、このデータ共有を有効化してください。なお、初期設定ウィザード完了後に有効/無効化する場合は、〈オプション〉 - 〈拡張〉 - 「システム利用データを共有する」のチェックをつける/外してください。

PaperCut の管理者 Web インタフェースが開きます。



Image30: PaperCut 管理者 Web インタフェース

7. 管理者画面の設定

PaperCut の初期設定が完了後、ブラウザ上に管理画面が開きます。手順に従って必要な設定を行ってください。このガイドでは基本的な設定について説明します。

運用に関する詳細は別紙「管理者運用ガイド」を参照してください。

詳細な設定に関しましては、各種ガイドを取り揃えておりますので弊社までお問い合わせください。

7-1 画面構成

管理者 Web インタフェースへログイン後、ダッシュボードが開きます。画面構成の詳細は別紙「管理者運用ガイド」を参照してください。

The screenshot shows the PaperCut MF administrator interface. At the top, the user name 'admin' is displayed, and a 'ログアウト' (Logout) button is visible. Below the navigation menu, the 'ユーザー・リスト' (User List) page is active. A search bar contains 'tamon'. On the left, an 'アクション' (Action) menu is open, showing options like '一括ユーザ処理' and 'ユーザーの印刷履歴 (過去30日間)'. The main area displays a table of users.

ユーザ名	フルネーム	残高	制限	ページ数	ジョブ数
tamon01	橋本 正成	1,000Pt	はい	0	0
tamon02	Tamon02	800Pt	はい	0	0
tamon03	Tamon03	800Pt	はい	0	0
tamon04	Tamon04	800Pt	はい	0	0
tamon05	Tamon05	800Pt	はい	0	0
tamon06	Tamon06	800Pt	はい	164	4
tamon07	Tamon07	1,040Pt	はい	257	54

Image31: PaperCut の画面構成

7-2 オプション設定

初期設定ウィザードが完了したら、最初に表示形式や同期するソースに関する追加設定を行います。オプション設定に関しては次の順番で行います。

- 表示形式の設定
- ユーザ/グループの同期設定
- オンデマンド・ユーザの設定
- 内部ユーザの有効化の設定

表示形式の設定

PaperCut のコスト残高のデフォルトの表示形式は通貨記号(¥)です。この記号を組織に見合った表示形式に変更します。ここでは、数字の前に「Pt.」と表示するように変更します。

また、数値はデフォルトで小数点第 2 位まで表示されます。小数点以下の桁数が表示されないように設定します。

1. PaperCut の管理者画面にログイン
2. <オプション> タブ - <全般> タブ から「表示オプション」を表示してください。
3. 次のように設定を変更します。

- ・通貨記号を表示: チェックを入れる
- ・カスタム通貨記号を使用: チェックを入れる
カスタム記号: Pt.
表示: 数字の前
- ・小数点以下桁数の変更: チェックを入れる
コスト設定に使用する小数点以下桁数: 0
他で使用する小数点以下桁数: 0

表示オプション	
数値的な表示方法やフォーマットのオプションを定義します。 ロケーションの設定は、システム全体の通貨形式に影響します。	<input checked="" type="checkbox"/> 通貨記号を表示 <input checked="" type="checkbox"/> カスタム通貨記号を使用 カスタム記号 <input type="text" value="PL"/> 表示 <input type="button" value="数字の後"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 小数点以下桁数の変更 コスト設定に使用する小数点以下桁数 (例、プリンタのコスト) <input type="text" value="0"/> 他で使用する小数点以下桁数 <input type="text" value="0"/>

Image32: 表示オプション

4. 設定が完了したら、[適用] ボタンをクリックしてください。

以上で設定は完了です。

ユーザ/グループの同期設定

初期設定ウィザードで同期ソース元の設定を行い、ユーザを取り込みますが、詳細な設定は管理者画面で行います。ここでは、Active Directory 上で「無効」に設定されているユーザは、PaperCut へ取り込まないように設定します。

1. PaperCut の管理者画面にログイン
2. <オプション> タブ - <ユーザ/グループの同期> タブ から「同期ソース」を表示してください。
3. オプション「無効なユーザのインポート」のチェックを外してください。
4. 設定が完了したら、[適用]ボタンをクリックしてください。

全般 モバイル & BYOD 通知 ユーザ/グループの同期 管理者権限 バックアップ 監査	
同期ソース 同期ソースはユーザとグループがインポートされるソースを定義します。 ユーザは自動的にインポートされます。グループは、グループ>タブ 経由で管理されます。	プライマリ同期ソース <input type="text" value="Windows Active Directory"/> <input checked="" type="checkbox"/> 無効なユーザのインポート <input type="checkbox"/> マルチドメインのサポートを有効化 (拡張)

Image33: ユーザ/グループの同期設定

以上で設定は完了です。なお、すでにユーザ・リストに取り込んだユーザが「無効」なユーザの場合、同期時にユーザは削除されませんのでご注意ください。ユーザ同期に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(ユーザ管理)」を参照してください。

オンデマンド・ユーザの設定

オンデマンド・ユーザ機能は、同期ソース(Ad/LDAP)に新規追加されたユーザが、初めて PaperCut で管理するプリンタから印刷した時に、自動的にユーザを PaperCut へ登録する機能です。ライセンスされたユーザ数を超過しないようにするために、この機能は無効化して運用される場合が多いです。そのため、オンデマンド・ユーザの作成を行わないように設定します。

1. PaperCut の管理者画面にログイン
2. <オプション> タブ - <ユーザ/グループの同期> タブ から「オンデマンド・ユーザの作成」を表示してください。
3. オプション「ユーザが存在しない場合」のプルダウンから「ユーザは作成せず使用を拒否」を選択してください。
4. 設定が完了したら、[適用]ボタンをクリックしてください。

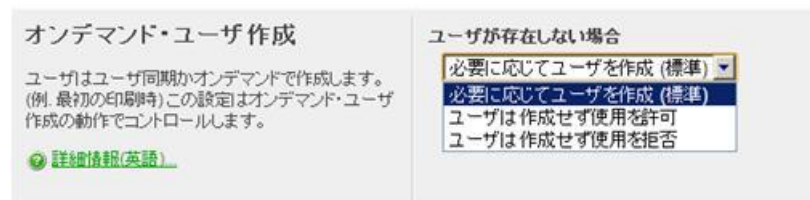


Image34: オンデマンド・ユーザの作成

以上で設定は完了です。オンデマンド・ユーザに関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(システム管理)」を参照してください。

内部ユーザの有効化の設定

内部ユーザとは、AD/LDAP から同期して作成したユーザではなく、直接 PaperCut 上で作成したユーザを意味します。内部ユーザを作成する場合、内部ユーザを有効化する必要があります。内部ユーザの作成方法は下記の通りです：

1. PaperCut の管理者画面にログイン

2. <オプション> タブ - <ユーザ/グループの同期> タブ から「内部ユーザ・オプション」を表示してください。
3. オプション「内部ユーザの有効化」にチェックをつけ有効化してください。有効化すると、隠れていたオプションが表示されます。

- ・アクセス・コントロール:

内部ユーザ作成を管理者のみが行うか、ユーザ自身も作成できるようにするかを設定します。

- ・ユーザ名にプレフィックスを追加:

ユーザ名の先頭に自動的に文字列を追加します。デフォルトは「guest-」です。例: 「user01」というユーザ名を定義すると、ユーザ名は「guest-user01」となります。プレフィックスが必要ない場合は、「guest-」をクリアしてください。

- ・確認メッセージ:

内部ユーザとして登録したユーザへメールで確認メッセージを送付する場合のメッセージ内容です。

- ・内部ユーザへメール確認メッセージを送信:

チェックをつけると、内部ユーザ作成時に登録した E メールアドレス宛に上記「確認メッセージ」が送付されます。

4. 設定が完了したら、[適用]ボタンをクリックしてください。<ユーザ> タブのアクションに「内部ユーザの作成」メニューが表示されます。

Image35: 内部ユーザ・オプション

7-3 グループの設定

AD/LDAP のセキュリティ・グループを同期してグループとして管理することが可能です。(AD の場合は OU もグループとして扱えます。)

グループ/OU 毎にクォータを設定したり、ポイントを付与したりできます。

グループ設定に関しては次の順番で行います：

- グループの追加と削除
- クォータ・スケジューリング
- 新規ユーザの作成の設定

グループの設定に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(ユーザ管理)」を参照してください。

グループの追加と削除

PaperCut でグループ管理に使用するグループ/OU を PaperCut 上のグループ・リストに追加する必要があります。グループの追加方法は下記の通りです：

1. <グループ> タブを選択
2. アクションから「グループの追加/削除」を選択
3. 「グループの追加/削除」画面が開きます。この画面の左側のリスト「利用可能なグループ/OU」が AD/LDAP に存在するすべてのグループおよび OU です。その中から追加するグループ/OU を選択し、真中にある右向き緑色の矢印をクリックし「選択済みのグループ/OU」のリストへ追加します。
4. PaperCut へ追加するすべてのグループ/OU の追加が完了したら、[適用]ボタンをクリックしてください。



Image36: グループの追加/削除

5. 以上でグループの追加は完了です。

クォータ・スケジューリング

定期的にユーザの残高(ポイント)をリセットして再設定する場合、クォータ・スケジューリングから設定を行います。例えば、年度が変わるタイミングに残高をリセットして新年度のポイントの付与を自動的に行うことができます。ここでは、グループ「学生」のメンバに毎年4月1日に200ポイントを割り当てる方法を説明します:

1. <グループ> タブを選択
2. グループ「学生」を選択
3. 「グループの詳細」画面が開きます。「クォータのスケジューリング」から次の設定を行ってください。
 - ・期間: カスタム「*-04-01」 ※ 毎年4月1日のAM12:10に設定されます
 - ・スケジュール・ポイント(金額): 200
 - ・残高を上限までのみ蓄積を許可: チェックを入れて、上限値を「200」に設定
4. 設定が完了したら、[適用]ボタンをクリックして設定を保存してください。

<h3>クォータのスケジューリング</h3> <p>クォータはスケジュール(毎日/毎週/毎月)に基づいて、ユーザ・アカウントに割当られます。</p> <p>「残高を上限までのみ蓄積を許可」が選択されていない場合、ユーザの残高は無制限に蓄積されます。</p> <p>「残高を上限までのみ蓄積を許可」が選択されている場合、ユーザの残高は指定されたポイント(金額)値まで蓄積できます。</p>	<p>期間</p> <p>カスタム ▼</p> <p>カスタム・スケジュール</p> <p>クォータの割り当てが実行中です: 2016/04/01</p> <p>*-04-01</p> <p>カンマ区切りリストの日付の形式は YYYY-MM-DD です。(例. 2010-03-15,2010-08-20,*-08-01,*-*-01)</p> <p>スケジュール・ポイント(金額)</p> <p>200Pt.</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 残高を上限までのみ蓄積を許可:</p> <p>200Pt.</p>
---	---

Image37: クォータ・スケジューリングの設定

以上で設定は完了です。クォータ・スケジューリング設定に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(ユーザ管理)」を参照してください。

新規ユーザの作成の設定

LDAP/AD などに新規ユーザが追加されると、夜間自動同期時に自動的に新規ユーザが PaperCut のユーザ・リストに取り込まれます。これら新規ユーザに設定する初期残高(ポイント)などを自動的に付与するための設定を行います。「学生」グループに属するユーザが新規追加された場合、自動的に「200 Pt」付与されるように設定します:

1. <グループ> タブを選択
2. グループ「学生」を選択
3. 「グループの詳細」画面が開きます。「新規ユーザの設定」から次の設定を行ってください。
 - ・このグループに新規ユーザの設定の定義を適用します: チェックを入れる
 - ・初期残高: 200
 - ・初期制限: チェックを入れる
4. 設定が完了したら、[適用]ボタンをクリックして設定を保存してください。

新規ユーザの設定 新規ユーザの設定は、今後の新規ユーザ・アカウントの設定を効率化します。 これらの設定は、このグループに属する新規ユーザに自動的に適用されます。これらの設定は既存ユーザ・アカウントには適用されません。	<input checked="" type="checkbox"/> このグループに新規ユーザの設定の定義を適用します 初期残高 200Pt. <input checked="" type="checkbox"/> 初期制限 初期マイナス残高 初期マイナス残高を使用 (0Pt.) 初期アカウント選択の設定 自動的に個人アカウントへ課金 初期拡張設定 <input type="checkbox"/> プリンタデバイス設定のオーバーライド
---	---

Image38: 新規ユーザの設定

以上で設定は完了です。新規ユーザの設定に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(ユーザ管理)」を参照してください。

7-4 ユーザの設定

「7-3 グループの設定」で基本的なユーザの設定は終了していますが、現在ユーザに設定されている残高(ポイント)は、初期設定ウィザードで設定された残高のままです。設定済みのポイントをユーザ個別に変更する方法と一括して変更する方法を説明します。

個別ユーザの設定方法

ユーザ個別に各種設定を行う場合は、〈ユーザ〉タブのユーザ・リストから設定するユーザ名をクリックして「ユーザの詳細画面」を表示し、各種設定を行います。ここでは、個別ユーザの残高(ポイント)を変更する方法をご紹介します。

1. 〈ユーザ〉タブを選択
2. ユーザ・リストから残高を変更するユーザを選択
3. 「ユーザの詳細」画面が開きます。
4. 〈アカウント残高の調整〉タブを選択
5. このユーザの現在の残高は「Pt.987」です。残高に「Pt.20」追加します。「適用する調整額」に「Pt. 20」と入力してください。
6. [適用]ボタンをクリックしてください。調整額が適用され残高が「Pt.1007」になります。



Image39: 個別ユーザの設定

ユーザの設定に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(ユーザ管理)」を参照してください。

一括ユーザの設定方法

複数/すべてのユーザに一括して設定を行う場合は、〈ユーザ〉タブのアクションから「一括ユーザ処理」を選択して行います。(〈グループ〉タブの「グループ単位での処理」からでも同じ画面が開きます)ここではすべてのユーザの残高(ポイント)を「Pt.50」に変更する方法をご紹介します。

1. 〈ユーザ〉タブを選択
2. 画面左側のアクションから「一括ユーザ処理」を選択
3. 「一括ユーザ操作」画面が開きます。下記のように設定してください:

- ・ユーザ選択
 - 定義を適用するユーザ: このグループ
 - 下のプルダウン: [全てのユーザ]
- ・残高の編集
 - 残高の設定: 50

4. 設定完了後、[OK] ボタンをクリックしてください。警告メッセージが表示されます。メッセージの[OK]をクリックすると進捗状況の画面が表示されます。設定が完了したら、進捗状況の画面を閉じてください。
5. 設定がすべてのユーザに反映されます。



Image40: 一括ユーザの設定

一括ユーザの設定に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(ユーザ管理)」を参照してください。

7-5 プリンタの設定

PaperCut は、PaperCut をインストールしたサーバ上であらかじめ作成されているプリント・キューからプリンタ情報を自動的に取得します。これらのプリンタが PaperCut で管理されます。また取り込まれたプリンタの 1 ページ辺りの初期コストは、PaperCut インストール後、PaperCut の初期設定ウィザードの「印刷のデフォルト・コストの設定」で設定した金額が適用されます。

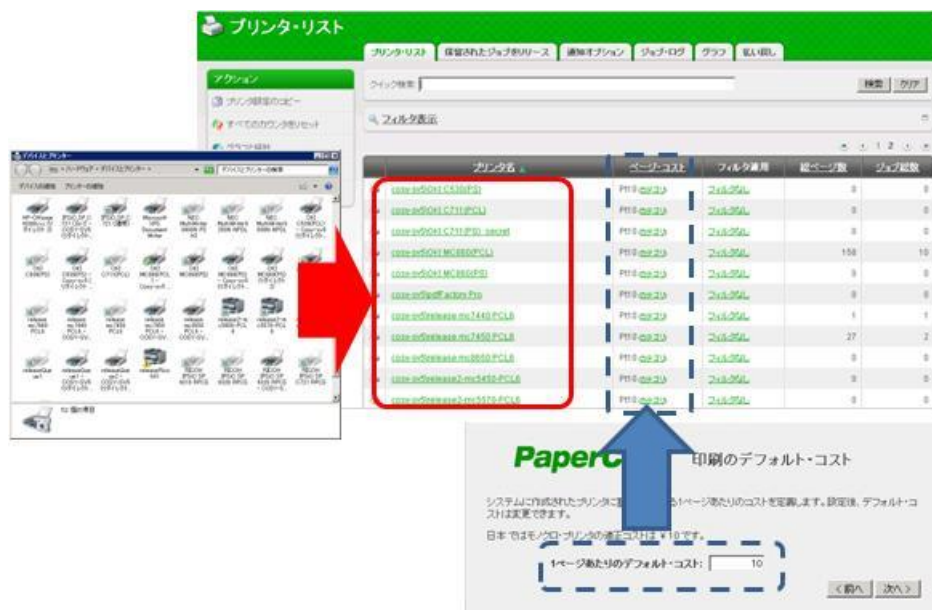


Image41: プリンタの初期設定

このガイドでは PaperCut 上で管理するプリンタの基本的な設定を説明します。

- コスト設定
- カラー検出モードの設定
- フィルタの設定
- プリンタ設定のコピー

プリンタの詳細な設定については、別紙「管理者詳細設定ガイド(プリンタ管理)」を参照してください。

コスト設定

各プリンタにそのプリンタを使用して印刷した場合に発生するコストを設定します。ここでは、カラー・プリンタにコスト設定する方法をご紹介します。

1. <プリンタ> タブを選択
2. プリンタ・リストからコスト設定を変更するプリンタを選択
3. プリンタの詳細画面が開きます。<コスト設定> タブを選択してください。

4. 「コスト設定」画面が開きます。下記のように設定してください。

- ・設定タイプ: カテゴリ
- ・基本コスト: 10
- ・大判用紙追加料金: 5
- ・モノクロ割引: 50 (%割引)
- ・両面割引: 50 (%割引)

- 上記設定により、A4 サイズ 1 ページをカラー印刷した場合は「Pt.10」課金されます。
- 大判用紙とは「A3,リーガル判用紙」を示します。A3 サイズ用紙を印刷すると基本コスト「10」に「5」が追加され「Pt.15」課金されます。
- モノクロ割引は、モノクロ印刷した場合に課金合計から指定した割引率が適用されます。
例: A4 用紙 1 ページをモノクロ印刷: $Pt.10 \times 50\% = Pt.5$
- 両面割引は、両面印刷した場合に課金合計から指定した割引率が適用されます。なお、奇数ページを両面印刷した場合、最後のページは片面しか印刷されないため、両面割引は適用されません。
例: A4 用紙 3 ページをカラーで両面印刷: $(Pt.10 \times 2 \text{ ページ}) \times 50\% + (Pt.10 \times 1 \text{ ページ}) = Pt.20$

5. 設定が完了したら、[適用] ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the 'Cost Setting' (コスト設定) interface. At the top, there are navigation tabs: 概要, コスト設定 (selected), フィルタと制限, スクリプト, ジョブ・ログ, 統計. Below the tabs, the '設定タイプ' (Setting Type) is set to 'カテゴリ' (Category). The main content area is titled '用紙サイズのカテゴリによる課金' (Charging by Paper Size Category) and contains a detailed explanation of the cost calculation. To the right, there are input fields for '基本コスト' (Basic Cost) set to Pt.10, '大判用紙追加料金' (Large Format Paper Surcharge) set to Pt.5, and '特大判用紙追加料金' (Special Large Format Paper Surcharge) set to Pt.0. There are also dropdown menus for 'モノクロ割引' (Monochrome Discount) and '両面割引' (Double-sided Discount), both set to 50.00%. At the bottom right, there are buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

Image42: コスト設定

コスト設定に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(プリンタ管理)」を参照してください。

カラー検出モードの設定

機種やドライバの種類により、モノクロ・プリンタから出力したデータを「カラー」と識別する場合があります。ここでは、カラー検出モードを変更する方法をご紹介します。

1. <プリンタ> タブを選択
2. プリンタ・リストからカラー検出モードを設定するプリンタを選択
3. プリンタの詳細画面が開きます。<概要> タブ から「拡張設定」オプションを表示してください。
4. 「カラー検出モード」から「モノクロ・プリンタ」を選択してください。
5. 設定が完了したら、[適用] ボタンをクリックしてください。



Image43: カラー検出モードの設定

カラー検出モードに関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(プリンタ管理)」を参照してください。

フィルタの設定

プリンタ毎に印刷のルール設定を行うことができます。ここでは、印刷時に 10 ページ以上のドキュメントの印刷を禁止する設定をご紹介します。

1. <プリンタ> タブを選択
2. プリンタ・リストからフィルタ設定するプリンタを選択
3. プリンタの詳細画面が開きます。<フィルタと制限> タブ を選択してください。
4. フィルタと制限の画面が開きます。制限オプションから「ページ合計」を表示し、下記のように設定してください。

・次のページ数を基本とするプリント・ジョブを拒否: チェックを入れる

- ・最小: 0
- ・最大: 10

5. 設定が完了したら、[適用] ボタンをクリックしてください。



Image44: フィルタの設定 - ページ合計

フィルタ設定に関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(プリンタ管理)」を参照してください。

プリンタ設定のコピー

プリンタから別のプリンタへ設定をコピーすることができます。プリンタが多数ある場合に便利です。設定方法は次の通りです。

1. <プリンタ> タブを選択
2. プリンタ・リストが開きます。コピー元にするプリンタを選択してください。プリンタの詳細画面が開きます。
3. 画面左側のアクションから「他のプリンタへ設定をコピー」をクリック
4. 「プリンタ設定のコピー」画面が開きます。オプション「ソース」からコピー元のプリンタを選択してください。
5. 「ターゲット」オプションからコピーするプリンタにチェックをつけて選択してください。



Image45: プリンタ設定のコピー - ソースとターゲット

6. 「設定」オプションからコピー元のプリンタからターゲット・プリンタへコピーする設定にチェックをつけてください。



Image46: プリンタ設定のコピー – 設定

7. 設定が完了したら、[コピー] ボタンをクリックしてください。設定がターゲット・プリンタへコピーされます。

プリンタ設定のコピーに関する詳細は、別紙「管理者詳細設定ガイド(プリンタ管理)」を参照してください。

8. クライアント・ソフトウェアの共有

PaperCut のクライアント・ソフトウェアはディレクトリにあります。

([app-path]/client 例:C:\ Program Files \ PaperCut MF(NG) \client)

このソフトウェアはネットワーク上で共有する必要があります。ワークステーションは共有されたこのフォルダからクライアント・アプリケーションをインストール/アクセスすることができます。このディレクトリはインストール・プロセスの一部として、自動的に読み取り専用の共有フォルダ「PCClient」として共有設定されます。ネットワーク上のワークステーション/クライアント PC からアドレス「¥¥[PaperCut サーバ名/IP アドレス]¥PCClient」へアクセスできることを確認してください。

9. クライアント・ソフトウェアの展開 (任意)

必要に応じて、PaperCut クライアント・ソフトウェアを展開することができます。クライアント・ソフトウェアは、基本的な印刷のログ収集のみを行う場合は必要ありません。クライアント・ソフトウェアが提供する機能は次の通りです：

- 通知メッセージの表示 (例: 印刷拒否 など)
- プリント・ポリシー・ポップアップの表示 (例: 両面印刷の推奨など) ※応用機能
- 共有アカウントへの割り当て/課金のためにポップアップを表示 (例: 部署用アカウント など)
- ユーザが印刷前にプリント・ジョブの詳細やコストを確認することを許可
- ユーザの現在の残高を表示
- ドメインやワークグループに属していないパソコンや持ち込み PC から印刷する場合、認証に使用することが可能

クライアント・ソフトウェアのインストール/展開方法の詳細については、別紙「クライアント・ツール設定ガイド」を参照してください。

10. インストール後のテスト

インストール設定完了後、正常にシステムが動作するかテストを実施してください：

10-1 クライアント・ツールを使用しない環境でのテスト

クライアント・ソフトウェアがインストールされておらず、印刷のログ収集のみを目的とする場合は、下記のテストを実施してください：

1. テスト用文書を印刷（例: Word ファイル, Web ページなど）
2. PaperCut の管理者 Web インタフェースへログインし、〈プリンタ〉タブ - 〈ジョブ・ログ〉タブを開く
3. 1 で印刷したジョブが一覧に表示されているか、プリント・ジョブの情報やコストは正しいかを確認してください。



利用日	ユーザ名	課金	プリンタ名	ページ数	コスト	ドキュメント名	属性	ステータス
2013/12/04 11:49:42	tamon07	TestAccount010	DocuPrintC3350AE	3	Pl.20	Microsoft PowerPoint - test2.pptx	A4 (ISO_A4) 両面: はい モノクロ: いいえ 15 KB PLW Google クラウド・フ リット ジョブID: 13	印刷済 [再印刷] [再集]
2013/12/04 11:47:28	tamon07	TestAccount005	DocuPrintC3350AE	3	Pl.20	test2.xlsx	A4 (ISO_A4) 両面: はい モノクロ: いいえ 7 KB PLW Google クラウド・フ リット ジョブID: 12	印刷済 [再印刷] [再集]

Image47: ジョブ・ログ

4. 〈ユーザ〉タブを選択し、ユーザ・リストから印刷を実行したユーザ名をクリックしてください。ユーザの詳細画面が開きます。〈処理履歴〉タブをクリックし、ユーザのアカウントから印刷ジョブのコストが課金されているかを確認してください。

Tamon07 (tamon07)						
詳細 アカウント残高の調整 処理履歴 ジョブ・ログ						
フィルタ適用 編集 閉じる						
処理日付	アカウント	処理者	金額	残高	トランザクションタイプ	コメント
2013/12/04 11:45:58	Default	[system] (print)	Pl.-10	Pl.975	プリンタで使用	
2013/12/04 11:44:40	Default	[system] (print)	Pl.-5		プリンタで使用	
2013/12/02 16:36:40	Default	[system] (print)	Pl.-5		プリンタで使用	<ul style="list-style-type: none"> プリンタ名: cosy-sv5/CS-DocuPrintC3350AE ドキュメント名: Microsoft Word - Test1_docx.docx ページ数: 1 コスト: Pl.10
2013/12/02 16:07:20	Default	[system] (print)	Pl.-5			
2013/11/29 11:22:22	Default	admin	Pl.850	Pl.1,000	手動調整	

Image48: ユーザ - 処理履歴

10-2クライアント・ツールを使用する環境でのテスト

クライアント・ソフトウェアがインストールされていて、アカウント選択ポップアップなどを使用する場合は次の項目をテストしてください。

クライアント・ソフトウェアのインストール/展開の詳細は別紙「クライアント・ツール設定ガイド」を参照してください。

1. PaperCut の管理者 Web インタフェースへログインし、<ユーザ> タブを選択し、ユーザ・リストから印刷を実行したユーザ名をクリックしてください。ユーザの詳細画面が開きます。
5. <概要> タブから「アカウント選択」を表示し、プリント・アカウント選択から「アドバンスド・アカウント選択ポップアップを表示」を選択してください。選択したら、画面右下の[適用]ボタンをクリックし設定を保存してください。

アカウント選択

アカウント選択は、どのアカウントにチャージするかを選択し、プリンタに送信する前にプリンタ・ジョブの確認することなどをユーザに許可する場合に使用します。これらのオプションの使用には、ワークステーション上にユーザ・クライアントが実行されている必要があります。

プリント・アカウント選択

アドバンスド・アカウント選択 ポップアップを表示

この設定は、該当のユーザ環境(クライアントPC/ワークステーション)において、常にクライアント・ソフトウェアが動作している必要があります。

ポップアップに表示する情報

個人アカウントへチャージする

共有アカウント(デフォルト)

(この共有アカウントは操作性向上のためあらかじめ選択されています)

共有アカウントが選択されている場合

共有アカウントへチャージする

個人アカウントへチャージする(レポートのために共有アカウントへ移行可能)

Image49: アドバンスド・アカウント選択ポップアップの設定

上記でクライアント PC にアドバンスド・アカウント選択ポップアップを表示する準備ができました。次にクライアント PC(ワークステーション)にクライアント・ソフトウェアをインストールしテスト印刷を行います。

1. クライアント PC にログインし、エクスプローラを開き、アドレス・バーに次のアドレスを入力してください。
¥¥[server-name]¥¥PCClient * [server-name] には PaperCut サーバの名前か IP アドレスを指定
2. フォルダ「PCClient」が開きます。フォルダ内の「win」フォルダを開き、「pc-client.exe」をダブルクリックしてください。クライアントが起動しタスク・トレイにアイコンが表示されます。

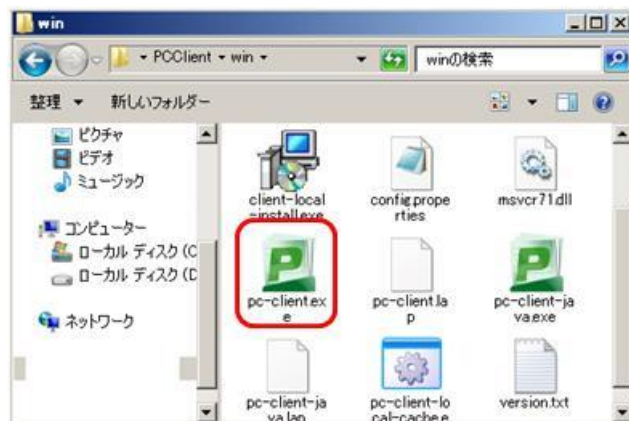


Image49: pc-client.exe



Image50: クライアント・ツール・アイコン

3. クライアント PC からテスト用文書を印刷 (例: Word ファイル, Web ページなど)
4. クライアント PC にアドバンスド・アカウント選択ポップアップが表示されます。
5. PaperCut の管理者 Web インタフェースへログインし、〈プリンタ〉タブ - 〈ジョブ・ログ〉タブを開き、印刷したドキュメントがログに表示されていることを確認してください。
6. 〈ユーザ〉タブを選択し、ユーザ・リストから印刷を実行したユーザ名をクリックしてください。ユーザの詳細画面が開きます。〈処理履歴〉タブをクリックし、ユーザのアカウントから印刷ジョブのコストが課金されているかを確認してください。

11. 次にすること

PaperCut の導入はこれで完了です。引き続き、詳細な設定やクライアント PC(ワークステーション)にクライアント・ソフトウェアをインストール/展開を行ってください。

PaperCut 管理者 Web インタフェースの概要は、別紙「管理者運用ガイド」を参照してください。

クライアント・ソフトウェアのインストール/展開方法の詳細は、別紙「クライアント・ツール設定ガイド」を参照してください。

その他機能の詳細についても各種ガイドを用意しております。弊社までお問い合わせください。

【参考】ワークグループ環境の設定方法

ワークグループ環境はドメイン・ネットワーク環境とは異なります。

ドメイン環境の場合、1台のサーバがコンピュータのアクセスを制御します。ユーザは中央サーバで定義された一般的なユーザ名とパスワードを使用して認証します。ユーザはネットワーク上の任意のPCを自分のユーザ名とパスワードを使用してアクセスし使用します。

ワークグループ環境の場合、すべてのコンピュータは対等であり、どのコンピュータも別のコンピュータを制御しません。またユーザはローカルで認証されます。コンピュータには汎用アカウント(例: guest など)で自動ログインするか、必要に応じて各コンピュータ上でローカルに作成されたユーザ・アカウントでログインすることになります。

PaperCut にはワークグループ環境のユーザを認証するための複数のオプションがあります。一般的に使用されているオプションは次にご紹介する「認証ポップアップ」を使用する方法です。

認証ポップアップの設定方法：

1. 事前に PaperCut をサーバにインストールしておいてください。
2. すべてのワークグループ環境下のコンピュータのログイン・アカウントを統一してください。(例: LibraryPC, Guest など) 一般的には、ワークグループ環境のコンピュータのログイン・アカウントには組織で定義済みの汎用アカウントを使用されていることがほとんどです。
3. ワークグループ環境下のコンピュータから印刷を実行してください。PaperCut の管理者画面にログインし、〈プリンタ〉タブ - 〈ジョブ・ログ〉 から印刷履歴を確認してください。ユーザ名は汎用アカウントとして記録されているはずですが。
4. PaperCut の管理者画面の 〈ユーザ〉 - 〈ユーザ・リスト〉 から汎用アカウントをクリックしてください。汎用アカウントの「ユーザの詳細画面」が表示されます。
5. 「ユーザの詳細画面」から〈詳細〉タブを選択し、「拡張オプション」を表示し、「認証されていないユーザ」オプションにチェックをつけてください。設定が完了したら[OK] をクリックしてください。



Image51: 認証されていないユーザー

6. 各コンピュータに PaperCut の「クライアント・ツール」をインストールしてください。クライアント・ツールのインストール方法の詳細は別紙「クライアント・ツール設定ガイド」をご参照ください。
7. コンピュータから印刷を実行してください。認証ポップアップが表示されます。ポップアップが表示されユーザー名とパスワードが問い合われます。



Image52: 認証ポップアップ

非ドメイン環境の印刷認証に関するさらなる詳細は別紙「認証プリント設定ガイド」をご参照ください。

PaperCut 日本語版

クイックスタート・ガイド(Windows 版)

15.3 Windows 10 対応 第 2.0 版